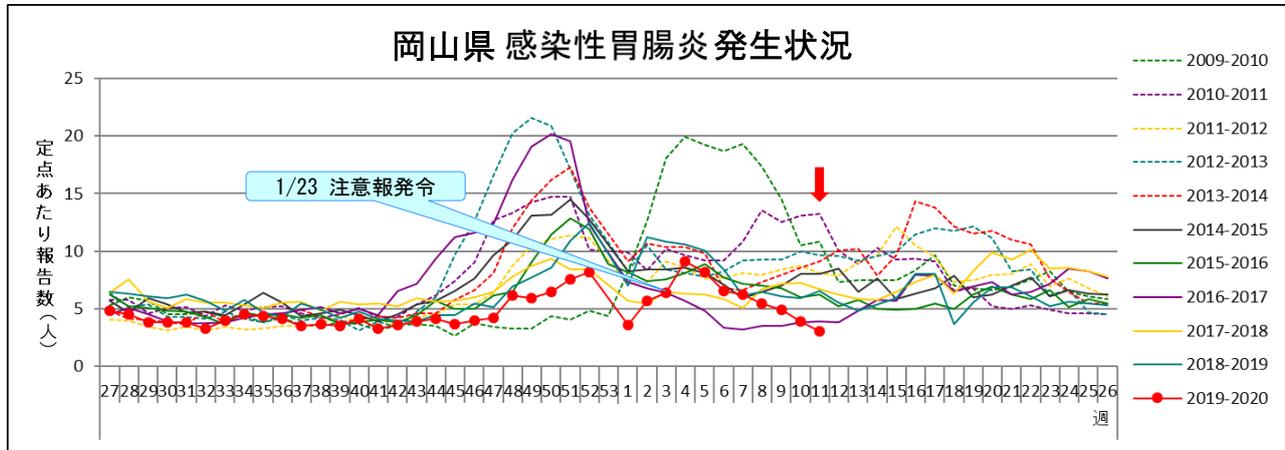


感染性胃腸炎週報 2020年 第11週 (3月9日～3月15日)

岡山県は『食中毒(ノロウイルス)注意報』発令中です

➤ 岡山県の流行状況

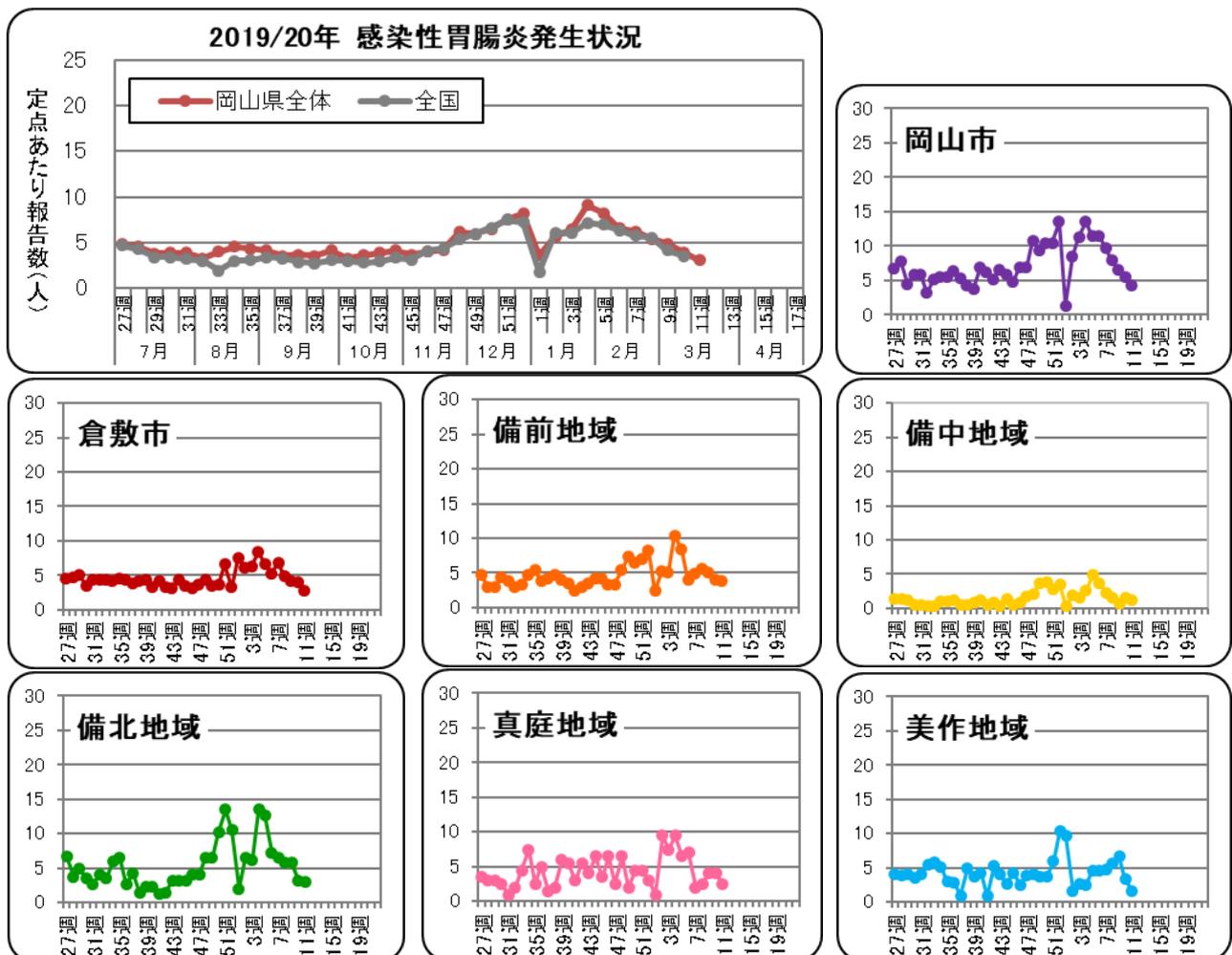
○感染性胃腸炎は、県全体で165名(定点あたり3.06人)の報告がありました(54定点医療機関報告)。

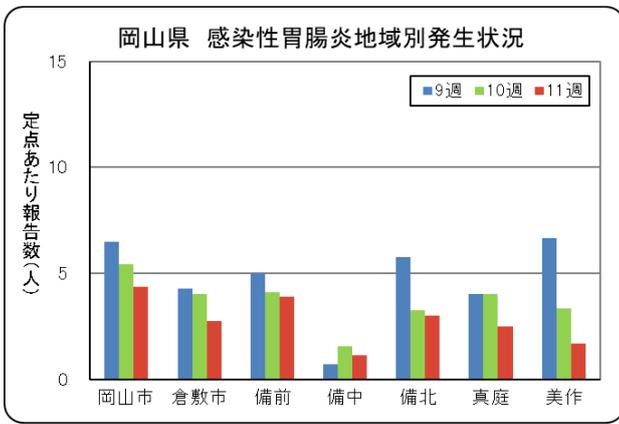


※感染性胃腸炎は、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第27週～翌年第26週で、グラフを作成しています。

感染性胃腸炎は、県全体で165名(定点あたり3.94→3.06人)の報告があり、前週から減少しました。例年3～5月には、2歳以下を中心に、0～6歳ころの乳幼児の間でノロウイルスによる胃腸炎が増加するとされています。主な症状はおう吐と下痢で、ノロウイルスによる胃腸炎に比べ重症度が高いとされています。おう吐や下痢により脱水症状を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診してください。

◆地域別・年齢別発生状況





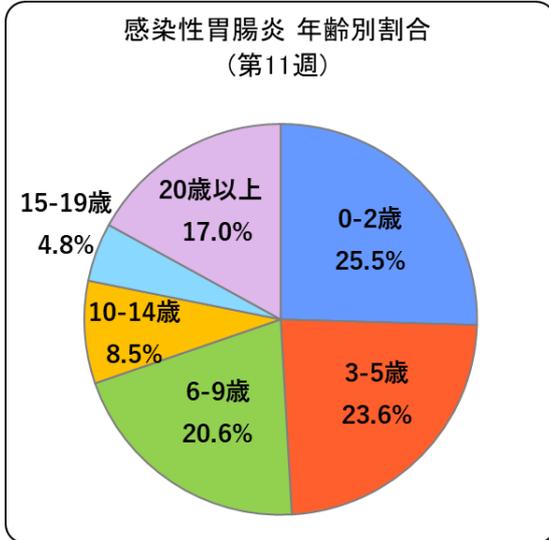
全県レベル1

レベル3		レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値
20	12	0 20未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。

地域別では、岡山市(4.36人)、備前地域(3.90人)の順で定点あたり報告数が多くなっています。

第11周年齢別割合では、0-2歳 25.5%、3-5歳 23.6%、6-9歳 20.6%の順で高くなっています(小児科定点(54 定点医療機関)からの報告による)。



◆◆ 感染性胃腸炎に気をつけましょう ◆◆

<予 防 方 法>

1. 最も大切なことは、手を洗うことです。

排便後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

2. 処理をする人自身が感染しないように気をつけましょう。

おう吐物や下痢便にはウイルスが大量に含まれています。処理をするときは、使い捨ての上着や、マスク、手袋を着用し、おう吐物、下痢便をペーパータオル等で静かに拭き取りましょう。拭き取った後は、**次亜塩素酸ナトリウム***で浸すように床を拭き取り、その後水拭きをしましょう。また、処理をした後はしっかりと流水で手を洗いましょう。

3. おう吐物や下痢便で汚れた衣類は、**85℃で1分間以上の熱水処理または次亜塩素酸ナトリウム***での消毒が有効です。

おう吐物や下痢便で汚れた衣類は、ウイルスが飛び散らないように汚物を除去し、熱水処理または**次亜塩素酸ナトリウム***で消毒をしましょう。

4. 食品は、中心部まで十分に加熱しましょう。(中心部を **85~90℃**で **90秒間以上**)

二枚貝の生食を控えましょう。中心部までしっかり加熱すれば安心です。

※家庭用塩素系漂白剤でも代用可。なお、塩素系漂白剤を使用する際には、「使用上の注意」を確認しましょう。また、ロタウイルスやノロウイルスに対してはアルコールの効果は低いとされています。

[○ロタウイルスに関するQ&A \(厚生労働省\)](#)

[○ノロウイルスに関するQ&A \(厚生労働省\)](#)

[○ノロウイルス感染症とその対応・予防 \(家庭等一般の方々へ\) \(国立感染症研究所\)](#)

